

受託研究審査委員会議事概要

委員会開催日：2023年 1月 18日(水曜日) 15時 30分 ~ 15時 50分

会議場：臨床研究センター3階 研修室

出席者：金澤 秀紀(委員長)、海老澤 元宏(副委員長)、松井 利浩、大松 華子、

山中 隆夫、勝海 学、岩間 大勝、石田 秀志、山本 昇、高橋 正身

委員長より、審議及び採決の際は当該治験に関する委員の退席を求める旨が伝えられた。

1 新規受託研究

(1)	潰瘍性大腸炎患者を対象としたジセレカ [®] 錠特定使用成績調査
-----	---

【審議事項】

調査実施の妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

2 安全性情報等報告及び治験に関する変更報告

(2)	変形性膝関節症患者を対象とした NaPPS の第 II 相試験 【治験依頼者：株式会社レクメド】 【成分記号：NaPPS】 【対象疾患：変形性膝関節症】 【開発の相：II 相】
-----	--

【審議事項】

治験期間が1年を越えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(3)	コレクチム一般使用成績調査
-----	---------------

【審議事項】

調査期間が1年を越えるため、調査を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(4)	サノフィ株式会社の依頼による再発型多発性硬化症(RMS)患者を対象とした SAR442168 の第 III 相試験 【治験依頼者：サノフィ株式会社】 【成分記号：SAR442168】
-----	---

	【対象疾患:再発型多発性硬化症(RMS)】 【開発の相:Ⅲ相】
--	--

【審議事項】

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

年次報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(5)	サノフィ株式会社の依頼による一次性進行型多発性硬化症(PPMS)患者を対象とした SAR442168 の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:サノフィ株式会社】 【成分記号:SAR442168】 【対象疾患:一次性進行型多発性硬化症(PPMS)】 【開発の相:Ⅲ相】
-----	---

【審議事項】

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

年次報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(6)	サノフィ株式会社の依頼による再発を伴わない二次性進行型多発性硬化症(NRSPMS)患者を対象とした SAR442168 の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:サノフィ株式会社】 【成分記号:SAR442168】 【対象疾患:二次性進行型多発性硬化症(NRSPMS)】 【開発の相:Ⅲ相】
-----	--

【審議事項】

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

年次報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(7)	帝人ファーマ株式会社の依頼による慢性流涎症(唾液過多)患者を対象とした NT 201S の第Ⅲ相試験 【治験依頼者:帝人ファーマ株式会社】 【成分記号:NT201S】 【対象疾患:慢性流涎症(唾液過多)】 【開発の相:Ⅲ相】
-----	--

【審議事項】

国内外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(8)	<p>既存治療で効果不十分又は既存治療の実施が困難な活動性の関節リウマチ患者を対象とした IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を検証する臨床第Ⅲ相試験</p> <p>【治験依頼者:全薬工業株式会社】</p> <p>【成分記号:IDEC-C2B8】</p> <p>【対象疾患:関節リウマチ】</p> <p>【開発の相:Ⅲ相】</p>
-----	--

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

研究報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

被験者への支払いに関する資料の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(9)	<p>再燃又は難治性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)成人患者を対象とした depemokimab の第Ⅲ相試験</p> <p>【治験依頼者:(治験国内管理人)サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社】</p> <p>【成分記号: depemokimab】</p> <p>【対象疾患:好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)】</p> <p>【開発の相:Ⅲ相】</p>
-----	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(10)	<p>A multicenter, open Label study to assess the safety and efficacy of risankizuMab for MaInTenance in moderate to severe pLaquE type pSoriaSis(LIMITLESS)</p> <p>中等度から重度の慢性局面型乾癬に対する維持投与における risankizumab の安全性及び有効性を評価する多施設共同、非盲検試験(LIMITLESS 試験)</p> <p>【治験依頼者:アツヴィ合同会社】</p> <p>【成分記号:ABBV-066 (Risankizumab)】</p> <p>【対象疾患:慢性局面型乾癬】</p> <p>【開発の相:Ⅲ相→Ⅳ相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(11)	<p>A Phase 3 Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Study to Evaluate Upadacitinib in Combination with Topical Corticosteroids in Adolescent and Adult Subjects with Moderate to Severe Atopic Dermatitis 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるステロイド外用薬併用下のウパダシチニブの第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験</p> <p>【治験依頼者:アツヴィ合同会社】 【成分記号:upadacitinib(ABT-494)】 【対象疾患:アトピー性皮膚炎】 【開発の相:Ⅲ相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(12)	<p>日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症(PPP)患者を対象とした Spesolimab の非盲検長期第Ⅱ相試験</p> <p>【治験依頼者:日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社】 【成分記号:BI 655130】 【対象疾患:掌蹠膿疱症(PPP)】 【開発の相:Ⅱ相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

年次報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験薬概要書の改訂に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(13)	<p>サノフィ株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎を有する日本人患者でのデュピルマブ試験</p> <p>【治験依頼者:サノフィ株式会社】 【成分記号:SAR231893(デュピルマブ)】 【対象疾患:アトピー性皮膚炎】 【開発の相:Ⅲ相】</p>
------	---

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(14)	日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重度のアトピー性皮膚炎を対象としたレブリキズマブの第Ⅲ相試験 【治験依頼者: 日本イーライリリー株式会社】 【成分記号: レブリキズマブ(LY3650150)】 【対象疾患: アトピー性皮膚炎】 【開発の相: Ⅲ相】
------	--

【審議事項】

海外安全性情報に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

年次報告に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した

審議結果	承認
------	----

(15)	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究
------	---------------------------------------

【審議事項】

研究実施計画書の改訂に基づき引き続き研究を実施することの妥当性について審議した。

情報公開文書の改訂に基づき引き続き研究を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

(16)	エフピー [®] OD錠 2.5 特定使用成績調査(高齢者使用)
------	---

【審議事項】

契約書の変更に基づき引き続き調査を実施することの妥当性について審議した。

審議結果	承認
------	----

3 終了報告等

(17)	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対する PAI-1 阻害薬 TM5614 のプラセボ対照二重盲検第Ⅱ相医師主導治験 【治験依頼者: 関谷 潔史】 【成分記号: TM5614】 【対象疾患: 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎】 【開発の相: Ⅱ相】
------	--

【審議事項】

治験終了の報告

審議結果	承認
------	----

(18)	<p>A Phase 3, Multicenter, Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Study to Evaluate Risankizumab in Adult Japanese Subjects with Moderate to Severe Palmoplantar Pustulosis</p> <p>中等症から重症の掌蹠膿疱症を有する日本の成人被験者を対象とした、リサンキズマブの第Ⅲ相多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検試験</p> <p>【治験依頼者:アツヴィ合同会社】</p> <p>【成分記号:ABBV-066 (Risankizumab)】</p> <p>【対象疾患:掌蹠膿疱症】</p> <p>【開発の相:Ⅲ相】</p>
------	--

【審議事項】

治験終了の報告

(19)	<p>ファーマエッセンシアジャパン株式会社による、日本人日光角化症を対象とした KX01 軟膏 1%の第三相試験</p> <p>【治験依頼者:ファーマエッセンシアジャパン株式会社】</p> <p>【成分記号:KX01】</p> <p>【対象疾患:日光角化症】</p> <p>【開発の相:Ⅲ相】</p>
------	--

【審議事項】

治験終了の報告

(20)	<p>尿路上皮癌及び線維芽細胞増殖因子受容体遺伝子異常を有する患者を同定するバイオマーカー研究</p>
------	---

【審議事項】

臨床研究終了の報告